

アップサイクル ラボB(手芸)

収容人数：最大 11人
 利用用途：生地ミシン加工や印刷、プラスチック・木材・金属への加工など。
 特徴：各家庭のタンスで眠っている衣類や和装着物などを加工し、新たなモノに生まれ変わらせるために必要な機材を設置しています。また、全国各地から再利用を目的に送られてきた、着物などの素材も提供できるような仕組みづくりを検討しています。なお、布地以外でも、加工ができるような特殊な機材を導入することで様々な素材を加工し、アップサイクルの可能性を探求していきます。



アップサイクルラボA(木工)

収容人数：最大 11人
 利用用途：木材加工を伴うDIYや日曜大工など
 特徴：家庭では設置場所や騒音などで設置しづらい木工用の大型電動工具や、木工加工や組立に必要な道具類に加え、木材・ネジ・塗料などの材料も準備しており、手軽に木工加工を楽しんでいただけます。また、材料置場と端材置場をかためて設置することで廃棄材料を極力減らし、より多くの皆様へ木の文化に触れて頂き、木材加工の楽しさを経験して頂きます。大型工具：丸のこスライドソー・テーブルソー・ボール盤・電動糸のこ盤・ベルトサンダー等
 貸出工具：インパクトドライバー・電動ドライバー・電動サンダー・のみ・ジグソー・カンナ・塗装セット他
 貸ロッカー：ご自身の工具を使いたいけれど、毎回道具類を持ち込むのが面倒！という方へは、貸ロッカー（有料）もご準備しています。

★ことす VR ツアーへようこそ！★
 ←こちらからアクセス！ (協力：ソフトバンク(株))
 ※一定レベル以上の通信環境や機器でなければ、スムーズに動かないことがあります。



リシンクホール

収容人数：30～40人
 利用用途：各種セミナーや中規模のミーティングなど
 特徴：縦長のセミナールームではなく横長にレイアウトすることでプレゼンターと視聴者との距離も近く、親近感が生まれやすい環境を提供させていただきました。画像では、机を六角形に配置していますが、横一文字の学校形式など利用人数や用途に合わせて自由にレイアウトできること、また、ミーティングにおいては、発想や視点を変えて議論「Rethink」することで、よりよい明日を目指してほしい！と願い、ネーミング※させて頂きました。

※JTの社会貢献活動「Rethink PROJECT」と「ことす」とのパートナーシップによって実現しました。



DXスタジオ(大)

収容人数：最大 26人
 利用用途：各種セミナーやミニコンサートなど
 特徴：元々音楽室として利用していましたのでミニコンサートでのご利用に加え、オンラインセミナー・公開シンポジウムを開催することが可能です。また、オンライン配信が必要となる、各種DX機材を取り揃えており、機材を持ち込むことなく撮影が行えます。ご用命により専門スタッフがサポートさせていただきます。

キッチンラボ

収容人数：最大 26人
 利用用途：料理教室や食事会など
 特徴：ガスコンロやオープンなどを設置し、料理や食事を楽しんで頂けます。講師テーブルの上部には手元を写す大型の鏡が設置されており、料理教室としてもご活用頂けます。



ことす 施設 ガイド

このほかにも、テレワークスペースや会議室なども充実。研修やイベントなどを一緒に作ることも可能です。
テレワーク拠点に加えて、各種ラボ機能がオープン！

京大生と、ことすで創る



「サステナブルな施設運営&ライフスタイル」

「ことす」をSDGsテーマパークに！SDGsクルー養成の場に！を合言葉に、持続可能な施設やイベント運営、スタッフや参加者のライフスタイルについて、京大生が中心となり、ルール作りや試行がスタート！2025大阪・関西万博に向けた共創も念頭に置いたものです。今後は、研修プログラムなどにもする予定です。

3/7(月) 16:30-18:00
 きょうから始める食の持続可能性登壇予定者：
 ・エコ〜るど京大メンバー
 ・京都超SDGsコンソーシアムメンバー企業（日本マクドナルド及び象印マホービン）
 ※ご飯の美味しい炊き方教室も！

3/8(火) 16:30-18:00
 きょうから始める施設・企画の持続可能性登壇予定者：
 ・エコ〜るど京大メンバー
 ・(公社)2025年日本国際博覧会協会“いのち輝く未来社会のデザイン”企画局 持続可能性部長 永見靖
 ・京北銘木生産協同組合 一瀬章弘
 ・京都里山SDGsラボ運営協議会/JT 光本年男

ことす来場にあたってのお願い。
 ◆館内は、省エネ運用。服装にて調整を。
 ◆ごみ削減のため、マイ箸・ボトル・バック(ウェットティッシュ替わりの)ハンカチ等ご持参を。ほか

若い世代は「自分ごと化」を超えて

3/11(金) 京都京北小中学校 京北未来プロジェクト
 ～持続可能な未来のために～
 京都市立京都京北小中学校(ふるさと未来科)では、2020年度から、京都大学等とも連携し、SDGsから見た京北の課題と魅力を抽出し、課題解決と魅力発信に繋がる未来の検討を行ってきました。3月11日には、9年生(中学3年生)が考えた提案を試行実施という形で実現！

①京北バスツアーを企画 ②ごみ拾いトレイルを実施
 ③京北産のショップを開く ④LGBTについて学ぶ

第2期京都大学SDGsリーダー育成プログラム成果発表会
 中高生と一緒に「未来のカタチ」について考えませんか？
 2021年6月から始まった今年度の受講生53名15グループが、社会課題の解決法・未来の社会デザインなど、多岐に渡るテーマについてプレゼンテーションを行います。

2022年度も参加者募集！

持続京北 可能地域 未来教育 京都市

※プログラムについては ←こちら

これらの事業は、一部、日本生命財団環境問題研究助成の支援を受けて実施するものです。

第一弾！京都里山SDGsラボ

「ことす」にマテリアルライブラリー®を整備！

ことす 京都里山SDGsラボ

企業や家庭で不要となり捨てられたモノを、ごみではなく、社会全体で使用する素材、「ソーシャルマテリアル®」と定義し、それらの新しい使い方を創造するために集められた集められた素材の図書館。

産業廃棄物業界に旋風を起こしたモノファクトリーが、満を持して京都進出！

京都超SDGsコンソーシアム
 2030年SDGsゴールの先を模索する産学官連携コンソーシアム(京都市・京都大学・リコー等)

連携